令和5年度 道外農業行政視察の結果について【概要】

- 1. 日 時 令和5年6月6日(火)から令和5年6月9日(金)まで 3泊4日
- 2.参加者 山田会長(団長)、遠藤委員、鈴木委員、鎌田委員、川崎委員、 福田委員、松尾委員、佐々木委員、川合局長、石垣主事(事務局) 計 10 名
- 3. 視察先及び結果【概要】
- ■視察(1) 広島県東広島市「双葉三共株式会社」
 - ○有機肥料製造工程(原料発酵処理施設、製品発酵製造施設)を視察し、事業概要について説明を受けた。
 - ・事業内容は、普通肥料及び特殊肥料の製造販売、産業廃棄物、一般廃棄物の収集運搬並びに発酵処理 など。
 - ・肥料原料は、下水汚泥や食品残渣など。
 - →原料は安定的に量が確保可能なものであることが必要であり、同社は東広島市や 呉市、尾道市などの浄化センターから下水汚泥を受け入れている。
 - →食品汚泥や食品残渣(コーヒー粕、茶粕等)なども飲食料品製造企業から受け入れ。
 - ・肥料製品の製造工程
 - ①原料搬入(下水汚泥、食品汚泥、食品残渣など)→②原料と微生物を混合破砕機で粉砕→③一次発酵(ブロアで発酵させる)→冷却→⑤二次発酵→⑥ふるいに通し、ごみや塊を取り除く→⑦冷却→⑧製品袋詰など
 - →製品はペレットもあり。原料 150 トンを製品化した際には 90 トンになる。 原料搬入から製品化までの期間は 5 週間。





製品発酵製造施設





ペレット成型



ペレットをフレコンバックへ





最終製品



- ■視察(2) 岡山県笠岡市「有限会社希望園」
 - ○牛舎、飼料倉庫、ロータリーパーラーを視察し、事業概要について説明を受けた。
 - ・飼養頭数は約3,000頭 (乳牛 2,500 頭 (搾乳牛 2,100 頭、乾乳牛 400 頭)、子牛 (F1 等) 500 頭)
 - ・子牛牛舎を視察
 - →フリーバーン型式で多数の送風機が設置され風通しの良い牛舎であった。
 - ・ 飼料倉庫を視察
 - →食べ残しの飼料は、再度、サイレージにし飼料代は5%削減されたとのこと。
 - →デントコーンは二期作で、7月と12月に収穫。
 - →飼料には、オカラやビール粕、醤油粕等を混合。
 - ・乾乳牛(出産を控えた牛)の牛舎を視察。
 - フリーストール牛舎を視察。(2棟あり1棟で1,000頭飼養)
 - →トンネル換気方式で、常に一定方向に風が抜けるようにされている。 天井に当たった風が牛のいる下にいくように工夫がなされている。
 - →糞尿は自動で集めるように機器が設置されている。
 - ・ロータリーパーラー(72P)を視察
 - →搾乳は1日3回。1度に72頭の搾乳が可能で10分程度で72頭の搾乳完了。 乳牛 2,100 頭の搾乳は 5 時間程度で終了。
 - ※機器のメンテナンスの関係で、実際の搾乳は視察時間中には見られなかった。

○子牛 牛舎





○飼料倉庫













飼料に配合するオカラ

○乾乳牛(出産を控えた牛の牛舎)

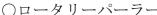


○フリーストール牛舎





風が下に行くように天井からビニール





ロータリーパーラー 乳牛待機場



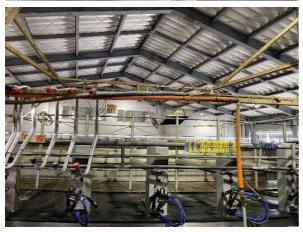




フリーストール牛舎の送風機











- ■視察(3) 岡山県岡山市「小橋工業株式会社」
 - ○事業概要等の説明を受けたあとに、農業用機械・部品の製造工場を視察。
 - ・事業内容は、農業用機械・部品の製造、販売。
 - · 従業員数、256 名
 - ・会社の歴史等
 - →「農具は人を生かす」という考えのもと、創業者が 1910 年に鍬づくり(鍛冶屋) から当地(岡山)で事業開始。
 - →1952 年に有限会社小橋農具製作所、1960 年に現在の小橋工業株式会社となった。
 - →1978年に、世界初の耕うん爪自動生産ライン完成。
 - →2019年、耕うん爪工場の建て替え工事完了。
 - →作業機と耕うん爪を両方製造する日本唯一の会社
 - ・同社の工場は、本社に隣接する1か所のみ。

作業機の実証や試験用の圃場は持っておらず、全国各地の農業者の協力を得て、製品の開発・改良を行っている。

- ・農業用機械の製造工場を視察(工場内は撮影禁止)
 - →製造しているのは60機種、550型式。年間1万台生産。
 - →部品点数は、農業用機械によるが 1 機種、500 点から 2,500 点。 部品を納入しているパートナー企業は約 200 社。
 - →組立ラインは8ライン。ラインは常に一定の速度でゆっくり動いており、従業員は動くラインに合わせ組立作業を行っている。
- ・2019年に建て替え工事が完了した耕うん爪工場を視察(工場内は撮影禁止)
 - →耕うん爪の製造工程は、鋼材切断→鍛造工程→熱処理工程→塗装工程。
 - →耕うん爪は、1日、3万5千本から4万2千本生産。







耕うん爪工場





本社

